

## 補助金カットのお話

幻とは言え「市議会報告」ですから、市議会の話も書かないといけませんね。

今、市議会が一番問題になっているのは「補助金カット」のお話です。今まで当たり前のように出されていた補助金が来年度予算ではカットされるのではないかとこのことです。特に問題になっているのが、次の補助金です。

1. 重度障がい者福祉手当
2. 難病患者見舞金
3. 精神障害者通院医療費助成費
4. 精神保険福祉手帳診断書助成
5. 社会参加促進のための事業費
6. 障がい者通所施設体制強化事業
7. 小中学校の図書購入費
8. 林間学校助成
9. 小学校加配教員配置
10. 民間保育園への運営費助成
11. 町内会補助金
12. 集団資源回収奨励金
13. PTA連合会への助成
14. 子ども医療費助成

等があります。心配なのが1～6の障がい福祉関係の削減が2億円以上と言われていることです。いくら財政難でも絶対にやってはいけないことがあると思います。そして、子育て世代に対して一番大きいのがやはり14の子ども医療費助成金（高校生以上の子達）の廃止ではないでしょうか。この助成金に関しては高校生以下も含め年齢制限ではなく所得制限で考えるべきだと僕は思っています。

これだけ削減対象が出ているのに、今のところ市長・議長・教育長の公用車の廃止案が聞こえてこないのが不思議。

まさか、福祉予算、教育予算を大幅に削減しながら、自分達が乗る「公用車」（年間かる～く1600万以上）はそのままなんてことはないとは思いますが・・・  
・・・12月議会で追及しますね。

2020年11月30日発行



11月の黒目川の川掃除も若い人たちが沢山参加してくれて、楽しい川掃除になりました。

## たかやんのプロフィール



1954年新宿生まれ  
本名たかむらともや  
新宿区立西戸山中、  
石神井高、北海道大  
庭球部卒。大学3年の  
冬、突然「教師になる」  
と決め、昭和52年新設

校の新座五中に赴任。母のような神宮司久子、兄のような甲神岳らと共に五中1期生3年生の担任となる。五中での最初の5年間は男子軟式テニス部の顧問、その後男子軟式テニス部が硬式テニス部となり、男女で全国大会に出場し男子が準優勝。六中では関東大会3回、全国大会2回優勝。大学でテニスを満喫できなかった鬱憤を教え子が晴らす(笑)

現在は「たかやん塾」で中高生と学ぶ。

最近、お腹が出て来たと感じ、24時間対応のジムに通い始める。51日間連続で通い、体脂肪率13.5%まで落とす。あと少しで腹筋が割れそうなところまできている。(本当よ)

好きな女優はソン・イェジン、ハン・ヒョジュ、キム・テヒ、新垣結衣、綾瀬はるか。

上の写真は五中10期生の卒業アルバムから。32歳の頃の僕です。髪の毛が……。

## 👤 12月議会

今度の議会の一般質問で通告しようと思っているのは…

1. 21年度の予算について
  2. 公園の垂れ幕(看板)について
  3. ふるさとにいざ館など市の施設について
  4. ドッグランについて
  5. 中学校の生徒指導について
  6. コロナワクチンについて
  7. 陸上競技場の公認について
  8. 音声点字ブロックについて
- この8つです。

勿論、1番の21年度予算についての中には問題になっている補助金削減の問題もあれば、大型事業凍結や公用車廃止の話も含まれています。

前回の9月議会では12項目も質問してしまったので、今回は8項目で勝負です。

新座の中学校では生徒指導で2人の子どもが命を落としています。そのことをどうか忘れないで欲しい。同じ間違いを繰り返して欲しくありません。髪の色や髪型が校則違反だというつまらない理由で子どもたちから教育を受ける権利を奪って欲しくないのです。

これは**子どもたちは勿論、現場の先生たちを守る為の質問**でもあります。

「市民と語る会」の二人は質問も討論も原稿なしのガチンコでやるのが当たり前になっています。「**新座市議会インターネット中継**」で気になる議員を調べると、色々見えてきて面白いと思いますよ。👤

## 👤 トレーニング

最近、毎日のようにジムに通っています。24時間対応のジムなので、早朝に行ったり、真夜中に行ったり…1日に2度行ったり。

五中、六中、そして塾の教え子たちもいるので、超楽しい空間になっています。体脂肪率も13%を切りそうだし、血糖値がどんどん正常になってきています。右の写真のように

**スタッフがみんな若くて親切**なので行きたくなるのかも知れません。連続記録は51日で途絶えましたが、まだまだ頑張ります!!👤

## 👤 遺伝子組み換え2

コロナワクチンの続きです。遺伝子組み換え食品が多く出回っています。牛・豚・鮭・鶏・遺伝子組み換えの技術は大豆やトウモロコシから大きな牛、豚、鮭、そして**6本足の鶏**まで作り出しました。

人の体にコロナの遺伝子を接種することは、「人間の遺伝子組み換え」に繋がっていくのです。

短期間の臨床試験で異常がなくても、自然界にないことが人の体の中で起きるのですから、10年20年の長さで見たときには何が起きるか、誰もわかりません。

長期間異質な遺伝子を体内に取り込む子ども達は特に危険度が高いと思われます。DNA(RNA)の**代謝経路が不明**だからです。

インフルエンザワクチンは鶏卵法、コロナワクチンは遺伝子法で作られます。鶏卵法は卵の中で抗原が作られますが、DNA(RNA)ワクチンは**人の体の中で抗原が作られ**、それに反応して抗体ができます。それが大きな違いです。鶏卵法は時間もかかり、大量生産ができません。それに比べて、遺伝子(DNA・RNA)法は短期間に大量生産できるという違いがあります。パンデミック向きなのは遺伝子法です。製薬会社から見ると、大儲けできるのも遺伝子法のワクチンということです。

**go to キャンペーン**でコロナ感染者が激増しても、それをやめようとならないのは、どうしてもワクチンを打たせたいからなのでしょう。**感染者が過去最多になってもgo toを続けるのは**きつとそういうことなんです。👤

